

歴史の「し」をまちづくりの新たなテーマに！

くまのかい 熊野会



会長

池本 孝司 さん
Takashi Ikemoto

副会長

西尾 正之 さん
Masayuki Nishio



潜ると安産や学問にご利益があるとされる小鳥居

こんなのにめり込むとは

佐治町大井地区にある熊野神社遺跡は、神仏習合という日本の中世社会における典型的な信仰のあり方をうかがい知ることができる遺跡として、本市の文化財に指定されています。

その謎を究明し、地域活性化の目玉にしようと取り組む「熊野会」は、「佐治町の文化遺産を大切にす会」として、平成20年に創設されました。メンバーは、公民館の歴史講座「熊野神社遺跡の謎に迫る」の受講生のみなさんです。

文化財に魅せられて

「こんなのにめり込むとは、正直なところ思ってもみませんでした」と、興奮気味に話す副会長の西尾さんは、以前から、地域で忘れられたように佇む石碑の由来を紐解くなど、地域が辿った身近な歴史を、新たな視点で掘り起こすことに興味がありました。これまで、熊野神社遺跡については、名前を知る程度で、関心もそれほど高くはありませんでした。

「子どもの頃の遊び場だった

熊野神社遺跡が、歴史のある貴重な文化財だということを知って、もう少し勉強してみたいと思いました」と、文化財の大切さ、遺跡に魅せられた会長の池本さんは、公民館事業のふるさとの歴史講座に参加したことがきっかけで会を創設。これまでは、他のテーマについても目を向けていましたが、会員の意見を聞くなどし、しだいに活動の中心を熊野神社遺跡に集約してきました。

そんな西尾さんや池本さんを引き込んだ熊野神社遺跡の

全貌は手つかずのまま

魅力とは、近・現代史のように答えが一つしかない、すぐわかるものではないこと、みんな議論しながら、いろいろな推論が立つことでした。

熊野神社遺跡には、高さ60センチの小鳥居があり、潜ると安産や学問にご利益があるとされています。また、他に類例を見ないマンシヨンのように階層をなす石仏のほくら、古代朝鮮半島との交流の証ではないかとされる積石塚古墳など、その全貌は手つかずの

《2月の番組ガイド》

.....鳥取市行政番組.....

『こんにちは鳥取市です』【放送】毎週金・土

鳥取市の施策や事業の取り組み状況、各種行事、お知らせを紹介します。

【特集】

- ▷確定申告の準備はお早めに～e-Tax(イータックス)をご利用ください～
- ▷鳥取市スポーツ表彰
- ▷むらぶくりシンポジウム



昨年の「鳥取市スポーツ表彰」

■特別番組『市庁舎整備に関するフォーラム』(仮称)
放送日時:2月中旬予定(詳しくはHPなどをご覧ください。)

静止画文字情報

『鳥取市からのお知らせ』【放送】毎週日・月・水・木



イベント・募集・相談などの各種お知らせを、文字画面と音声でご案内します。

いなばびよんびよんネット
自主制作番組

農業番組『いなばアグリタイム』【放送】毎週水・木

各地で始まった集落座談会の模様や、栽培情報では、
水稻種子の温湯消毒についてお知らせします。

地域情報番組『とっとりウオーキング』【放送】毎週日・月

節分やバレンタインデーの話題、そして今春小学校に
入学する子どもたちの体験入学の様子などを紹介します。

生活情報番組『びよんびよんワイド』【放送】毎週火

子育てや健康をテーマに、暮らしに役立つ情報や話
題をお届けします。

手話番組『手話でコミュニケーション』【放送】毎週日・月

ニュースや話題、行事、お知らせを手話や字幕で
紹介します。

鳥取市コミュニティデータ放送が始まりました！

鳥取市の行政情報や地域情報など生活に密着した情報
が、地デジテレビやSTBなどのリモコンを操作することで、
ご家庭のテレビで手軽にご覧いただける「鳥取市コミュニ
ティデータ放送」がスタートしました。操作方法など詳しく
は、ご加入のケーブルテレビ局にお問い合わせください。

情報をお寄せください！

いなばびよんびよんネット ☎ 0857-22-6111

※放送予定は予告なく変更することがあります。
番組の放送時間は、ホームページまたはデジ
タル放送の電子番組表(EPG)をご覧ください。
<http://www.inabapyonpyon.net>

2ch



石仏のマンション(2009.4.11)

熊野会は、年
6回の学習会を
とができます。
現在も修験道や
神仏習合の痕跡
を随所に見るこ
とができます。
実で、周辺では、
たことはほぼ確
聖地の一つであっ
する熊野信仰の
熊野大社に由来
し、和歌山県の
にも名前が登場
談記」や「因幡誌」

江戸時代に書かれた「稲場民
まま。

開き、会員が研究した成果を
持ち寄ることで知識を深め、
会員相互の親睦と遺跡の魅力
向上に努めています。

観光か地元の宝か

「宝というものはよそにある
もので、地元にあるとは思
いもありませんでした」と語る西
尾さんは、活動の成果が実を
結び、しだいに有名になる熊
野神社遺跡をうれしくも、誇
らしくも思います。
しかし一方で、世間に知れ
渡るのを危惧する考え方もあ
り、熊野会では、今後の方針

五しの里を六しの里へ

熊野会の会員は現在20人。
年齢層も23歳から80歳代と幅
広く、地元以外の人もいます。
目下の課題は、遺跡の清掃
とボランティアの養成。会の名
前入りのベストも新調し、ま
すます意気込みは高まります。
現在、佐治町は「梨、和紙、話
石、星」をテーマに「五しの里」
を決める時期に差し掛かって
います。熊野神社遺跡が、有
名な観光地になれば、「心な
い人に踏み荒らされるのでは」
との心配もあるからです。

としてまちづくりを進めていま
すが、熊野会は、これに「歴史」
を加えたいと考えています。
「熊野神社遺跡をもっと分か
りやすくしたい。そして、もっ
と地元の人に理解してもらいた
い」と池本さんは願っています。
「信仰心が薄らいだ今日です
から、神様と仏様が仲良く共
存するところに、熊野神社遺
跡の本当の魅力があるのでは
ないでしょうか」と、西尾さ
んが最後につぶやきました。
雪に覆われた山間の里佐治
町には、人を魅了する希少な
文化が今も息づいています。